

さんばしひろばで水中水上ドローンの実証実験を実施します！ ～「ちばドローン実証ワンストップセンター」で実証実験を支援～

千葉市では、ドローンの実証実験を促進し、あらゆる分野のドローン利活用の早期本格化を図るため、国家戦略特区推進課内に「ちばドローン実証ワンストップセンター」を設置しています。

このたび、ワンストップセンターに相談のあった事業のうち、水中水上ドローンの動作確認のための実証実験を実施しますので、お知らせします。

1 実証実験概要

(1) 内容

開発中の機体(ASV CHATORA(チャトラ)およびAUV HATTORI(ハットリ))の、実海域における動作確認

・ASV CHATORA (チャトラ)

AUVの運用支援用のブイ型のASV(自律無人ボート)。波浪や強風にも対応できる高い保持能力を持つほか、測位中のAUVを追跡する機能を持つ。全長1.2m、空中重量20kg。

・AUV HATTORI (ハットリ)

小型軽量のクルーズ型AUV。スキャニングソナーにより海底を低高度で追従できる。全長1.0m、空中重量20kg。



ASV CHATORA(チャトラ)



AUV HATTORI(ハットリ)

(2) 実施日

令和8年9月9日(水)、10日(木)

※雨天、強風等の場合は9月16日(水)、17日(木)に延期します。

(3) 場所

さんばしひろば前の海域(2号栈橋付近)(中央区中央港30)



(4) 実施者

東京大学生産技術研究所 巻研究室(東京都目黒区駒場)

2 取材について

9月9日（水）（実証1日目）に、実証実験の様子を公開します。

（1）日時

令和8年9月9日（水）15：00～15：30

※雨天、強風等の場合は9月16日（水）同時刻に延期します。

（2）場所

さんばしひろば前の海域（2号栈橋付近）

（3）内容

・動作試験

チャトラ、ハットリをそれぞれ索（ロープ）付きで栈橋から投入し、動作試験を行う。

・測位性能評価

チャトラの音響測位装置で水中にいるハットリを測位する。両者の位置関係をさまざまに変えて計測し、測位性能を評価する。

（4）申し込み方法

取材希望の方は、9月8日（火）正午までに、国家戦略特区推進課へメール（tokku.POF@city.chiba.lg.jp）でご連絡をお願いします。

<参考>

1 ちばドローン実証ワンストップセンターについて

ドローンの実証実験を促進することにより、ドローン利活用の早期本格化を図るため、国家戦略特別区域法に基づき、平成30年3月23日に、本市が国と共同で設置した組織です。実証実験を実施しようとする事業者に対し、情報提供、相談等の支援を行っています。

(1) 設置場所

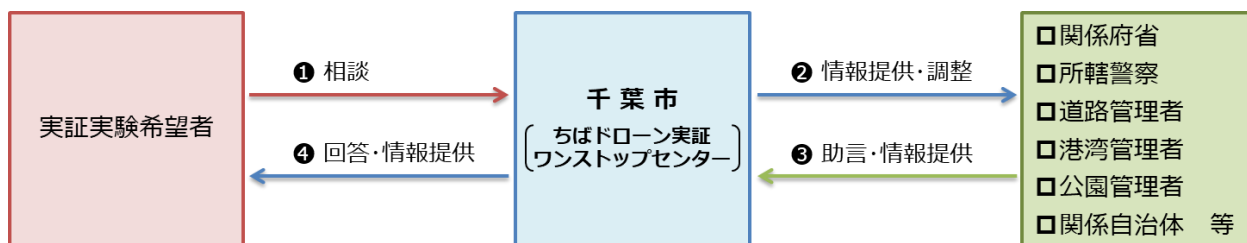
市役所高層棟6階 国家戦略特区推進課内

(2) 受付時間

月～金曜日 9:00～17:00（祝休日、年末年始を除く）

(3) 支援内容

- ア 実証実験に必要な手続に関する電話相談、窓口相談等の対応
- イ 実証実験の実施に係る関係機関等との調整
- ウ 実証実験の実施に係る地域への周知等
- エ その他実証実験の実施に必要な支援



ちばドローンワンストップセンターの支援イメージ

2 東京大学生産技術研究所 巻研究室について

巻研究室では、最先端のロボット工学と情報処理技術を駆使して、新たな海中海底探査システムの研究開発に取り組んでいます。特に、AUV（Autonomous Underwater Vehicle 自律型無人潜水機）をはじめとする複数の自律プラットフォームの連携により、船舶をベースとするこれまでの観測手法では考えられなかったような広範囲・高精度・長期間の海底観測を可能とするシステムの実現を目指します。

【URL】 <http://makilab.iis.u-tokyo.ac.jp/>



3 水中水上ドローンについて

(1) AUV（Autonomous Underwater Vehicle 自律型無人潜水機）

人が操作せず全自動で行動する自律型海中ロボット。

(2) ASV（Autonomous Surface Vehicle 自律型無人水上機）

自律制御で水上を航行する小型船舶、ミニボート。